

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-02-03-01
事務事業名	庁用物品調達管理事業		
事業開始年度			
根拠法令・要綱等	国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（グリーン購入法）		
大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合せ先	担当課（室） 財政課
中項目	基本施策 自然と共生するまちづくり	職・氏名	財政係長・佐藤行弘
小項目	施策 省資源・省エネルギー	電話	0869-64-1801

事業の実施	
対象（誰・何に対して）	市職員
目的（何のために）	省資源、省エネルギーの実現に貢献する。
行政活動（どのような方法で）	庁用物品・コピー機・コピー用紙（グリーンマーク商品）の調達、修繕、管理を統括する。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	省資源、省エネルギーの実現

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
庁用物品の管理時間	時間	2,274	510	177
コピー用紙購入枚数	枚	2,706,000	2,382,500	2,509,000
複合機（コピー機）リース台数	台	10	11	13
活動実績				
直接事業費		2,310	982	1,099
人件費	千円	4,860	1,695	1,630
事業費計		7,170	2,677	2,729
財源				
国県支出金				
受益者負担	千円			
一般財源		7,170	2,677	2,729
必要人員	人	0.65	0.25	0.23
結果指標				
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
庁用物品の管理時間	説明	庁用物品の管理に要した時間		
結果指標量	時間	2,274	510	177
対前年比	%	-	22.4%	34.7%
活動コスト	円	7,170,000	2,677,000	1,668,000
単位当たりコスト	円	3,153	5,249	9,424
結果指標				
結果指標量	円			
対前年比	%			
活動コスト	円			
単位当たりコスト	円			

事業の成果			
成果指標名	複合機（コピー機）プリント枚数	式又は説明	複合機を使用したコピー、パソコンからのプリント、ファックス受信などによるプリント枚数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	1,165,633	1,296,914	1,788,468
対前年比		111.26%	137.90%
到達目標値	1,500,000	到達目標年度	平成21年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である（法律・政省令）	妥当性評価<A-E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	グリーンマーク商品の調達により省資源、省エネルギーの実現に貢献することは、地球環境の保全に資することであり、目的の妥当性は高い。 昨年、古紙100%含有商品の偽装事件があり、現在は「自社植林木ハルブ」50%使用のものを調達している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A-E>	B
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識	
コスト	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	庁用物品の管理時間にかかる時間を削減することができたため、事業費を削減することができた。反面、単位あたりコストは大幅に上昇した。 単位あたりコストを下げるには、調達単価の引き下げが必要であるが、原油高などの影響により引き下げは困難であると考えられる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
職	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A-E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	複合機（コピー機）を使用したプリント枚数が大幅に増加している。これは、複合機の導入により、それまで、コピー機、プリンター、ファックスに分散していたものが、集約された結果であると考えられる。また、プリント単価が印刷機の単価と比較して遜色ない程度に引き下げることができたため、印刷機から資金を集中させたことも理由の一つである。今後は、総プリント枚数の削減に努めるとともに、グリーンマーク商品の購入することを通じて、環境に配慮する必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	プリント枚数の削減、コピー用紙の調達単価の引き下げや、管理に従事する時間の削減に取り組んでいる。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 150	結果指標量	-
	成果指標量	結果指標量	1,500,000

総合評価		評価区分<A-E>	C
グリーンマーク商品の調達を推進し、さらに管理に従事する時間の削減は達成できたが、複合機のプリント枚数が増加しており、プリンターや印刷機の使用枚数の削減と相殺しても、増加していると予測される。今後は、総プリント枚数の削減により省資源・省エネルギーに貢献する必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	コピー用紙の支所を含めた一括発注について研究する。	平成20年度	調達単価の引き下げ